幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2024年2月度　定例会

日　時　2月19日（月）　13：30～15：30
会　場　ウエルス幸手（機能回復訓練室）
司　会　　S

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）健康増進課　出前講座（機能回復訓練室）

2. 今後の予定
   1）3/18（月）令和6年度活動予定を決める（第2会議室）
   2）4/15（月）第18回通常総会

3. お知らせ
   1）社協推進会議　1／22（月）令和6年度　養成講座開催決定　日程と講師は未定
   2）見守り支援ネットワーク全体会議及び講習会1/31（Òさん）（ウエルス幸手）
   3）令和6年度役員決定　会長　Sさん　副会長　wさんとÒさん
   会計　Hさん　会計監査　Èさん　書記　Kさん　運営　SさんとÑさん
   以上　皆さん　よろしくお願いいたします。
   4）個人宅傾聴　鈴木さんに決まる

◎1月度議事録
   1）1月度定例会参加者　16名
   2）Sさんの優しいワーク　4人ずつのグループになり新しい試みの講習だったので
   慣れればとても良いワークになると思います。来年度もこのワークをお願いします。

※今月のことば　「一目でわかる傾聴ボランティア」より
◎話を横取りしない
A「来月　〇〇温泉に行くの」B「〇〇温泉ですか？　私も行ったことがあります。」
B「あそこは　いい温泉ですよね。私は、友達と行ったんですけどお風呂が大きくて
それで・・・・・」B「・・・なんですよね・・・」B「あ、それでなんでしたっけ」
A「・・・」
話の途中で口を挟まれ、話題を横取りされると、相手は、話す意欲をなくし、口を閉ざしてしまうこともあります。話し手は、自分が楽しみにしている温泉行の話を聴いてもらいたいのであって、行った人の体験談を聴きたいわけではありません。
自分の経験は、話し手から質問されない限り、控えることが大切です。たとえ質問された場合でも、手短かに話すようにしましょう。
「私も同じような経験をしたのでわかるような気がします。」と、短く言うことは、安心感、満足感を高めるため、時には有効です。
大切なのは、話し手に最後までキチンと話してもらうことです。